

令和 8 年 4 月 17 日
総合政策局技術政策課
海事局海洋・環境政策課

中小企業イノベーション創出推進事業 (SBIR フェーズ 3 基金事業) に係る補助対象事業の採択結果について

～スタートアップ等の先端技術を活用し海事分野の取組を推進～

「中小企業イノベーション創出推進事業」の「安全・安心な公共交通等の実現に向けた技術の開発・実証」分野に関し、令和 8 年 1 月 9 日～令和 8 年 2 月 27 日に公募を行いました。応募内容につきまして、外部有識者等から構成される採択審査委員会における審議を踏まえ、以下のとおり 1 件の採択を決定しましたので公表します。

今後、スタートアップ等の有する先端技術の社会実装の促進を通じ、引き続き、海事分野の行政課題の解決に取り組んでまいります。

【「安全・安心な公共交通等の実現に向けた技術の開発・実証」分野公募 採択結果】

テーマ : データを活用した内航船員の業務支援技術・労働環境改善技術の社会実装に向けた開発・実証

応募件数 : 2 件

採択件数 : 1 件 (別紙 1 参照)

審査方法 : 補助事業者の要件を満たす 2 件について、書面審査を実施の上、ヒアリング審査を実施。(審査委員は別紙 2 参照)

【問合せ先】

<本事業全体の概要等について>

総合政策局技術政策課 浅井、中島

TEL: 03-5253-8111 (内線 25612、25625) / 03-5253-8308 (直通)

<公募テーマ、採択案件等について>

海事局海洋・環境政策課技術企画室 加藤、平山、寺元

TEL: 03-5253-8111 (内線 43953、43933) / 03-5253-8636 (直通)

「データを活用した内航船員の業務支援技術・労働環境改善技術の社会実装に向けた開発・実証」の採択概要

代表スタートアップ	株式会社 SIM-SHIP
事業計画名	内航船陸上サポート基盤の高度化・統合運用実証事業
事業期間	～令和 9 年度末
交付上限額	1.9 億円

採択審査委員会 委員名簿

「データを活用した内航船員の業務支援技術・労働環境改善技術の社会実装に向けた開発・実証」

(委員は五十音順、敬称略)

	氏名	所属・役職
委員長	満行 泰河	国立大学法人 横浜国立大学 大学院 工学研究院 システムの創生部門 准教授
委員	長 俊寿	一般財団法人日本海事協会 デジタルトランスフォーメーションセンター 主管
委員	野中 朋美	早稲田大学 創造理工学部 経営システム工学科 教授

※ 公正かつ中立な審査を行う観点から、審査対象となる事業と利害関係を有する委員は、当該事業の審査には参加していない。